

台南市

Tainan City

五条港

旧市街散策



永楽焼肉ご飯	C07	06-2281516
金得春卷き	C07	06-2285397
阿輝タウナギ料理屋	C08	06-2215540
信裕軒(伝統菓子)	C09	06-2285606
太古コーヒー	D04	06-2211053
皇上不上朝	D04	0933983950
修安豆乳プリン	D06	06-2261069
旧永瑞珍菓子(中華菓子)	E09	06-2223716
莊子ピーナッツスープ(デザート)	F05	06-2218529
阿娟チマキ	F06	06-2206812
唐寅居(鍋料理)	G04	06-2216828
蛸尾家(ソフトクリーム)	G06	
黒橋腸詰	G06	06-2295248
江水號(かき氷)	G07	06-2258494
福栄屋台(揚げ麺とワンタン)	G07	06-2212805
BROWN(食事・コーヒー)	H04	06-2292395
赤坂棺材板(シチュー入り揚げパン)	H05	06-2240014
栄盛おこわ	H05	06-2209545
美勝珍(砂撈越けドライフルーツ)	H07	06-2225618
羊城小食(醬油鶏)	H07	06-2216609
雙全紅茶	H08	06-2288431
度小月担仔麵	H09	06-2231744

★宿泊施設及び飲食店等の情報は、各事業者の実際の営業状況または告知に基づきます

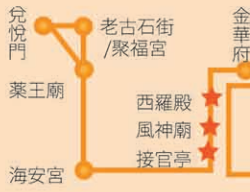
TAIWAN
WAVES OF WONDER



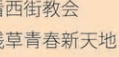
二つの旧市街を繋ぐ歴史的な水路 五条港
清の時代に最初の貿易老街「北勢老街」
全台湾に唯一 風神が祀られている廟 風神廟
台湾に最初の宣教場所「看西街教会」
台南で四大牌坊の中に最も重要な石造り牌坊 接官亭
台南で現存に唯一 使用中の外城門「兌悅(ダエツ)門」

「五条港旧市街散策」無料ガイド

日光コース



星光コース



★日光コース(昼間コース)
夏(4-10月)
毎週土曜、日曜16:00～18:00時
冬(11-3月)
毎週土曜、日曜15:00～17:00時

★集合場所:
海安路と神農街交差点
★申し込み:
「台南旅行サイト」にてご予約ください。

★星光コース(夜間コース)
毎週土曜、日曜 19:00～21:00時

台南市政府観光旅遊局

Tainan City Government Tourism Bureau

http://www.twtainan.net/

民治シティホール(本部)

06-6353226

永華シティホール(旅行サービス科)

06-3901175

台南旅行サイト

http://www.twtainan.net/

民治シティホール(本部)

06-6353226

永華シティホール(旅行サービス科)

06-3901175

2025.05 印製発行 [広告]

お問い合わせ

トラベルセンター24時間
オンラインサービス



旅行台南APP



台南市旅客宿泊予約
サービスシステム



YouBikeレンタル
ステーション検索



漫遊文芸

栄發錫屋	C03	06-2205653
王泉盈紙莊(冥銭専門店)	C08	06-2276839
金泉成雜穀屋	C08	06-2222093
五条港行號(創作工房)	D04	06-2203866
永川工藝社(伝統神輿制作)	D04	06-2224996
西仏国(仏像彫刻)	D04	06-2286486
皇上不上朝	D04	0933983950
金徳春茶屋	D08	06-2284682
永興木工彫刻屋	F05	06-2238407
天徳行(印刷屋)	F10	06-2285548
峰茂茶屋	H07	06-2224657

1

水仙宮

神農街1号



水仙宮は、主に水仙尊王大禹が祀られ、配祀として冼王、楚王(項羽)、伍大夫(伍子胥)、屈大夫(屈原)が祀られ、「一帝二王二大夫」とも言われて、当時、台湾における貿易の中心地でした。府城三郊(台南の三大商社組織)は、1741(清乾隆6)年から、水仙宮に統括本部の「三益堂」を設立したことにより、府城(台南)経済、宗教、政治における重要性が伺えます。
TEL:06-2203019

8

接官亭石坊★



清の乾隆帝ごろ、巡道(地方行政官)鄂善の建白により、台湾に赴任してきた新任者を迎えるため、南河港鎮渡頭安瀾橋の近くに接官亭が建てられました。1765(清乾隆30)年に知府蔣允熹により修繕され、1777(清乾隆42)年に蔣元樞は再度に改修するとともに、鐘樓と鼓樓を新設し、また、南河港沿いに石積み作りの接官亭牌坊をも建てました。
この牌坊は、入母屋造り式の四柱三間の牌坊で、正面には「鯢雄永奠」、裏には「繁柱擎天」の文字が彫られています。文献によると、南河港(旧水路)の接官亭から大井頭(井戸)の間に、最も古い「井亭夜市」があったと記録されていました

おすすめの観光スポット 五条港周辺



金安宮 信義街108巷61号

金安宮は、兌悅門の東北に、及び中通りの西北に位置し、主に天上聖母(媽祖)が祀られています。清の乾隆帝ごろ、いつも参拝が盛んになっているため、地方の主な信仰になり、地元の方と埠頭の労働者も、媽祖の助けを感謝するため、力を合わせて募金し、廟の建設に力を注ぎました。
また、天上聖母の霊は、福建省金川と金門島から迎えてきたことにより、「金安宮」と名付けられました。
1865(清同治4)年、台湾は開港され、長老教会のジューズ・マックスウェル医師(中国語名:馬雅各)は、真っ先に台湾府城(台南)看西街でキリスト教の宣教を行い、台湾に西洋文明を導入してきました。その後、看西街で教会を建て、「看西街教会」と名付けました。
TEL:06-2255817

菱洲宮 成功路502号

元々、「天、雷、朱、許」四名の千歳爺(神様)が祀られて、通称「天王爺館」でしたが、その後、さらに「北極玄天上帝」が加えられ、しかも主祭神として祀られたため、「菱洲宮」に改称しました。
(この地域には、徳慶溪と分岐した水路が延々と西へ流れていて、その間に形成された砂洲は、菱の実に似た地形なので、「菱洲」と名付けられました)。
TEL:06-2214993

媽祖樓天后宮 忠孝街118号

媽祖樓天后宮は、現在の成功路と海安路の西南に位置します。ここは、清の時代に台湾軍工道工場(軍需工場)の水路出口にあたりますので、「哨船港」と名付けられました。1755(清乾隆20)年、地元の方が募金し、廟を建てた後に、媽祖の霊は、屋根裏の部屋に祀られているので、「媽祖樓」と名付けられました。
2013年の台湾映画「祝宴」シェフ「総舖師」のロケ地です。
TEL:06-2206946

2

景福祠

普濟街44号



主に福德正神(土帝君)が祀られ、佛頭港(旧水路)の源頭にある廟です。清の末期、府城(台南)出身の進士許南英氏が書いた詩には、「佛頭港にドラゴンボードが競い、源頭まで人が溢れるほどの賑わい」の盛況ぶりと比べると、昔のような賑わいをもう二度と取り戻せません。
TEL:06-2292933

7

風神廟★

民権路二段143巷8号



清の乾隆帝ごろ、巡道(地方行政官)鄂善の建白により、接官亭は、鎮渡頭安瀾橋の近くに建てられました。また、台湾は、「遠隔地にあり、船が行き来する際、その安危・禍福は、すべて神様次第である。従って、春・秋の祭礼のほか、廟を建てて、専門的に祀るべき。」という理由で、接官亭の中に、風神廟が建てられ、風神と観音様の像が祀られて、船と人員の行き来が無事であることを祈願します。
TEL:06-2277540

9

海安宮

金華路四段44巷31号



1736(清乾隆元年)、郊商(甘、台南の商業組合)は中国福建省漳州島より、天上聖母(媽祖様)の霊を台湾に迎えてきて、鎮渡頭にお寺を創設しました。お寺は西向き、五条港の中心に位置したため、「鎮港媽」(港を鎮守する媽祖様)と呼ばれて、いつも参拝が盛んになっています。しかし、戦災で全て焼失したため、戦後後に再建されました。
TEL:06-2209605

14

看西街教会

和平街33号



看西街は、五条港の南北方向に走っている重要道路で、町屋は、西側の海に向いているため、「看西」(西を見る)と名付けられました。
1865(清同治4)年、台湾は開港され、長老教会のジューズ・マックスウェル医師(中国語名:馬雅各)は、真っ先に台湾府城(台南)看西街でキリスト教の宣教を行い、台湾に西洋文明を導入してきました。その後、看西街で教会を建て、「看西街教会」と名付けました。その後、教会は和平通りに移りました。
TEL:06-2225808



普濟殿 普濟街79号

明永暦年ごろに建てられ、主に池府王爺が祀られ、元々「普濟廟」という名称でしたが、明の寧靖王朱術桂が「普濟殿」と名付けました。本殿は、府城(台南)の西北に位置し、西城に最も早く形成された砂洲でした。昔から交通の便がよく、広範圏に「八卦」のような交通網を持ち、また、本殿はちょうど八卦の真ん中、「蜘蛛の巣」の中心部に位置しているので、その重要性が伺えます。台湾府城(台南)の地形も、鳳が北へ飛び出すような形になっています。普濟殿は、ちょうど鳳(鳳凰)の頭に位置しています。
TEL:06-2268774

3

聚福宮

民族路三段51号



主に玄天上帝が祀られ、昔の佛頭港(旧水路)の川上に位置し、福建省泉州晉江市前埔村の蔡氏一族が建てたお寺です。府城(台南)では、「蔡氏と蔡氏が喧嘩すると、祖先の位牌までやられてしまう。」と言われるほど、清の嘉慶帝頃、晉江市前埔村と晉江市大嵩村に出身の同蔡氏一族の間、佛頭港で激しい戦いがあったことを表しています。TEL:06-2230916

6

西羅殿★

和平街90号

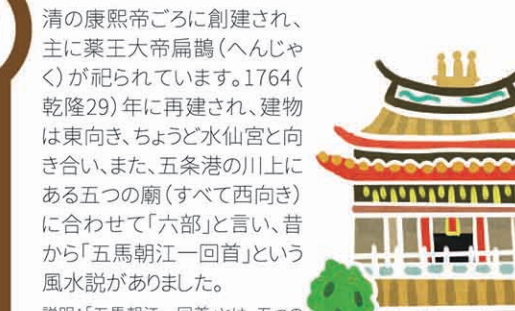


ここは、元々鎮渡頭大西門城門の跡でした。清の乾隆帝ごろ、台湾府城(台南)の城壁が改築され、大西門(城門)も宮後通りに移されたため、郭氏一族が出資し、元の廟を建て直し、西羅殿と改称しました。
また、郭氏一族は、南河港郭氏が港湾労働者の風習である成人式を取り入れ、西羅殿の周辺まで広がったため、その後、台南では、「十六才成人式祝い」を行うようになりました。
TEL:06-2285354

10

薬王廟

金華路四段86号



清の康熙帝ごろに創建され、主に薬王大帝扁鵲(へんじゃく)が祀られています。1764(乾隆29)年に再建され、建物は東向き、ちょうど水仙宮と向き合い、また、五条港の川上にある五つの廟(すべて西向き)に合わせて「六部」と言い、昔から「五馬朝江一回首」という風水説がありました。
説明:「五馬朝江一回首」とは、五つの廟は、全て西向き、薬王廟だけが東向きなので、五本の水路は海(西)へ勢く流れていて、薬王廟(東向き)で振り返ることにより、運勢が勢いに発展し、そのま水(海)に流さないことを祈願します。
TEL:06-2267763

13

西門浅草青春新天地

国華街二段26号



浅草西門マーケットの由来は、1933(昭和8)年に日本人が西門市場周辺に店舗を建て、「浅草商場」と名付けたためです。つまり、日本時代に建てられた最初の公設市場、俗称は「大菜市」(大きい市場)でした。
屋台の所有者数が多いため、台南市政府は、各業者の意見を統合した結果、隣接している広場に「浅草青春新天地」を新しく建設し、若者をターゲットした商品、服、工芸品、バック類などを販売しています。

4

神農街★



旧名は北勢通りで、東西方向に走り、現在的水仙宮から、海安路、康樂街に經由し、薬王廟前まで、清の時代に五条港を中心とした重要道路でした。
神農街は、清の康熙帝末期に建てられ、全長約300メートル、幅4メートルの道路で、船舶が旧北勢港、佛頭港に停泊し、商売取引を行う場所で、且つ五条港地域の重要水路と町でした。

5

金華府

神農街71号



主に文衡聖帝(関羽)、李王爺、馬王爺、黃王爺が祀られています。清の同治帝、光緒帝頃、及び大正年間にも修復工事が行われたため、府城(台南)の旧市街にわずかに残された長屋式の廟で、レトロな雰囲気も溢れて、最も深みのある廟と言われています。
TEL:06-2288374

11

兌悅門

文賢路と信義街の交差点



清の道光帝ごろに創建され、台湾府城(台南)西側の城門で、現存に唯一の外城門です。城門は、西側に位置し、八卦の「兌方」に所属するため、「兌悦(ダエツ)」と名付けました。
城門の土台は、サンゴ礁で建てられ、現存に唯一使用中の外城門で、台南市の発展をずっと見守ってきた城門です。

12

老古石街(信義街)



「老古石」とは、サンゴ礁のことです。当時、道路と城門の土台は、全てサンゴ礁で作られたため、「老古石通り」と名付けました。この道路は、昔から清の道光帝ごろまで、すーと新港境(旧水路)沿いの重要道路で、安平港埠頭まで行けます。昔から、各洋行(商社)は五条港貿易での出入りが、ほとんどこの道路を利用するため、常に安平港の港湾労働者との衝突事件がありました。老古石通りと兌悅門は、弓と矢に似た地形で、安平港に向けて発射しているように見えるため、よく事件が引き起こされるとも言われています。

崇福宮

民族路三段119号

崇福宮は、佛頭港(旧水路)沿いに位置し、主に玄天上帝が祀られています。また、全台湾に唯一に女性の安産守り、子供の成長を見守ってくれる「註胎夫人媽」、及び馬府王爺などが祀られているお寺です。
1728年、蔡柯榮氏が蚵港より玄天上帝をお迎え、蔡氏一族の仏壇に祀られました。1763(清乾隆27)年、蔡壁らが募金し、崇福宮という廟を建てました。1945(大正14)年に永楽路が開通され、廟は北向きに変えましたが、現在の建物は、1984(中華民国73)年に改築されたものです。
TEL:06-2213323

集福宮

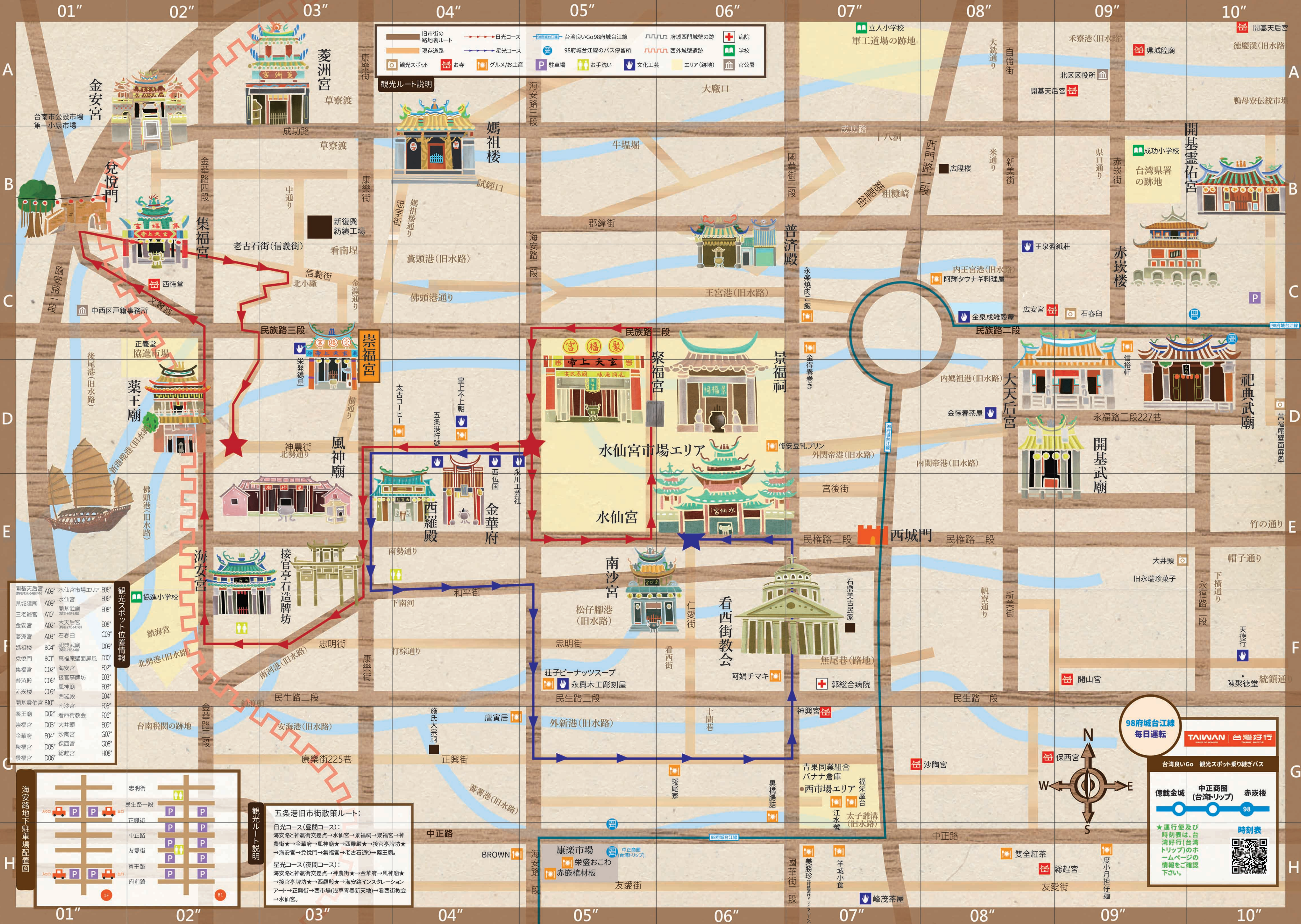
信義街83号

「兌悅門」に隣接し、主に玄天上帝が祀られ、パワフルで、いつも参拝が盛んでいます。1822(清道光2)年に「集福宮」と改名し、清の末期に府城(台南)の民防組織「七合境」の本堂になり、現在、老古石通りの民防組織に入り、普濟殿、金安宮、媽祖楼に合わせて、「四聯境」と言います。
TEL:06-2234889

南沙宮

和平街55号

南沙宮は、和平街と仁愛街の交差点に位置し、看西街教会と隣接しています。看西街と和平街は、五条港時代の南河港(旧水路)にあたり、船舶がよく廟の前に停泊したため、別称は「港頭廟」と言います。
昔には、盧氏一族の仏壇に冥府の王包青天が祀られ、「包公廟」とも言います。鎮座神の包公公像は、すでに数百年の歴史を持つと言われています。
TEL:06-2212225



開基天后宮	A09	水仙宮市場エリア	E06
鼎城隍廟	A09	水仙宮	E06
三老爺宮	A10	開基武廟	E08
金安宮	A02	太天后宮	E08
菱洲宮	A03	石春白	C09
媽祖樓	B04	祀典武廟	D09
兌悅門	B01	萬福庵壁面屏風	D10
集福宮	C02	海安宮	F02
普濟殿	C06	接官亭牌坊	E03
赤崁樓	C09	風神廟	E03
開基靈佑宮	B10	西羅殿	E04
藥王廟	D02	南沙宮	F06
崇福宮	D03	看西街教会	F06
金華府	E04	大井頭	E09
聚福宮	D05	沙陶宮	G07
景福宮	D06	保西宮	G08
		總經宮	H08



五条港旧市街散策ルート:

日光コース(昼間コース):
海安路と神農街交差点→水仙宮→景福宮→聚福宮→神農街→金華府→風神廟→西羅殿→接官亭牌坊→海安宮→兌悅門→集福宮→老古石通り→藥王廟。

星光コース(夜間コース):
海安路と神農街交差点→神農街→金華府→風神廟→接官亭牌坊→西羅殿→海安路インステーションアート→正興街→西市場(浅草青春新天地)→看西街教会→水仙宮。

98府城台江線 毎日運航

TAIWAN | 台灣好行

台湾良いGo 観光スポット乗り継ぎバス

億載金城 中正商園 (台湾トリップ) 赤崁樓

★運行便及び時刻表は、台湾好行(台湾トリップ)のホームページの情報を確認下さい。

時刻表